

私たちの活動や意見を仲間  
で共有します。  
会費は県と日本平和委員会  
の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2018年7月15日 第317号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutiura.web.fc2.com/

## 国民平和大行進2018

# 核兵器のない世界をめざして 7月7日、土浦市内を元気に行進



## 核兵器禁止条約採択(国連)から1年、行進スタートから60年の節目の年

5月6日北海道礼文島をはじめ各コースを出発した2018年国民平和大行進は、2ヶ月目の7月7日やっと土浦市に到達。茨城県に入ってから10日目、石岡市、かすみがうら市を経て土浦市へ、続いて阿見町、つくば市、牛久市等へと歩を進めています。



前日までの悪天候の予報から一転、ときおり日も差し、強めの風が吹く絶好(?)の行進日和となりました。亀城公園での引継ぎ集会には70名、荒川沖駅までの行進には50名近くが参加しました。

前準備、会場設営やお握り、お新香、スイカなどなどご用意いただいた皆様、大変お世話になりました。

## 核廃絶運動めぐる節目の年

折しも7月7日は国連で核兵器禁止条約が122カ国の賛成で採択されてから1年目となります。また、国民平和大行進が開始されてから60年目でもあります。

8月4日まで、広島市平和公園をめざして行進は力強く進みます。



挨拶するのは土浦平和の会事務局長の近藤さん。行進実行委員会代表として奮闘しました。平和の会幹事各位もそれぞれ奮闘しました

トランペットを演奏するのは、北海道→東京(太平洋)コース通し行進者の山内金久さん



翌日のつくば市コースへしっかり引き継がれました

## 平和への願いと共に

## 豪雨被害からの復興にも力あわせて

豪雨が西日本各地に甚大な被害をもたらしました。多くの命が失われ、家屋などの被害も深刻です。様々な救援活動への積極的なご協力を呼びかけます。

被爆地広島に向かう平和行進が豪雨被害地への励ましにも結びつくことを願わずにはられません。



# 夏の平和行事 盛りだくさん

## 2018原爆と人間展

ピースデー 8月11日(土・山の日)

午前10時30分～午後4時45分  
県南生涯学習センター(土浦市役所5階)  
入場無料

### 午前の部

ドキュメンタリー映画「封印された原爆報告書」  
その他、朗読など

### 午後の部

アニメ映画 「この世界の片隅に」  
その他、中学生平和使節回報告など



### 原爆パネル展

8月7日～8月12日 ピースデーと同じ会場で開催

主催：原爆と人間展実行委員会、後援：土浦市、新聞各社他

## 8・15平和のつどい ドキュメンタリー映画 「コスタリカの奇跡」

日時: 8月17日(金)

①14:00～ ②18:30～

会場: 土浦市民会館小ホール

入場料: 前売券1000円(当日1300円)

1948年に常備軍を解体し、軍隊なしで国の平和を保ってきた中米のコスタリカ。

軍事予算ゼロで、無料の教育、無料の医療を実現、幸福度世界ランキングで140カ国中世界1位に。

この国づくりの奇跡に迫ったドキュメンタリー

主催：「8・15平和のつどい」実行委員会  
後援：土浦市

6月3日の土浦平和の会の総会で会長(代表理事)に選ばれました、よろしくお願いします。

誠実さ、リスペクト(相手を尊敬している話し合い)のある対話こそが平和をもたらすと思います。先の米朝会談、南北会談が、現実を動かしています。会談の具体化にはなお一層の努力が必要ですが、一步前進すれば、さらに二歩目もあるに違いありません。そうして、つきつめれば、

### 平和への思い

岡田安正 新会長(代表理事)

いまできることをひとつひとつ積み上げることが平和への力

沖縄の第三海兵隊が不要になる、その存在意義がなくなります。辺野古基地の建設も意味がなくなります。

日本でだって、5兆円の防衛費の多くは朝鮮半島の緊張がなくなれば存在意義がなくなります。そして、そういう平和の流れが醸成されて、北東アジアの安全

保障体制ができると思います。軍事費が減れば社会保障費が充実するし、教育費も充実する、保育士の待遇も改善する。夢みたいなことです。

しかし、平和は対話ではもたらせないという人がいます。必要最小限の兵器、

軍隊は必要というのです。しかし、必要最小限というが、具体的には無制限である。本音は兵器を売って商売することでないか。彼らはそういう状況を平和

だというのである。

本当の平和であってほしい、対話で解決してほしいという願いは市民の願いです。その市民ができることをひとつひとつやってみよう、それは平和の力になるのだ。平和の会はそういう市民の結集体でありたいと思います。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 「平和新聞」(毎月5、15、25日発行) 月額400円